

第3次千葉県食育推進計画（平成29年度～令和3年度）



「ちばの恵み」を取り入れたバランスのよい食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくり

I 生産から食卓まで食のつながりを意識した食育の推進

食への感謝の気持ちや理解を深めるため、生産から消費のプロセスを知ることや地域の食を知ることが重要です。農林漁業体験など食に関する様々な体験活動への参加を進め、農林水産物の重要性の啓発と地域の食への関心と理解を進めていきます。

1 魅力発信と地産地消の推進

千葉県産農林水産物の魅力発信、学校給食や加工の取組などでの地場産物の活用を推進します。

2 生産者と消費者の交流の促進

栽培や体験活動・都市と農山漁村の交流を通じて、農林水産業への理解や食育の推進を図ります。



3 食文化の普及と継承

ちばの郷土料理の普及を図り、地域の食文化を若い世代に伝え、継承していきます。

4 食の循環や環境を意識した取組の推進

消費者に、環境にやさしい農業に対する理解促進を図るとともに、食品ロスの削減の啓発を行います。



III ちばの食育の推進体制強化

食育に係る様々な関係者が主体的かつ連携・協力し、地域に密着した食育活動が促進されるよう推進体制を強化するとともに、県民が健全な食生活を実践しやすい環境づくりを進めていきます。

1 食育を進める人材の確保

ちば食育ボランティア等を育成し、食育活動に取り組む関係者のネットワークを広げ、地域の食育活動を促進します。



2 多様な関係者の連携強化

ちば食育サポート企業等、企業・団体と連携して情報を発信し、食育活動の促進を図ります。

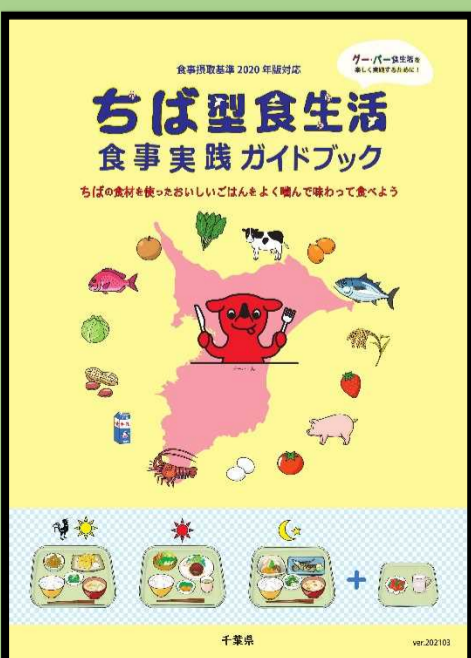


3 地域における取組の強化

食育月間を中心として食育関係者が一体となって啓発を行い、千葉県の啓発資料「ちば型食生活食事実践ガイドブック」の活用を促進します。

4 食に関する情報の提供

食品の安全・安心に関する情報を正確に分かりやすく発信し、消費者の食品選択に資するよう食品表示の適正化を推進します。



II 子供から高齢者まで各世代に応じた食育の推進

食の実態は、年代や就業、家庭や生活環境の状況により異なります。各世代別の課題を整理し、それに応じたきめ細かな食育を推進します。



1 就学前の子供

- ◆乳幼児からの正しい食生活の実践を促進します。
- ◆乳幼児のかむ力を育てるための食事等の普及を図ります。
- ◆保育所等の給食施設における食育の取組を促進します。



2 小学生・中学生

- ◆各学校における食に関する指導の全体計画の作成・見直し及び栄養教諭等を中心とした食育を推進します。
- ◆学校給食を生きた教材として活用し、効果的な食育を推進します。
- ◆「千産千消デー」の実施など学校給食に地場産物の活用を進めます。
- ◆「早寝 早起き 朝ごはん」の取組を促進します。



3 高校生

- ◆高等学校において食に関する指導の全体計画の作成、関係教科等を中心とした食育を推進します。
- ◆食の自立に向けた意識を高め、健全な食生活の実践に向けた食育を推進します。



4 青年期

- ◆大学や職場の食堂等において、栄養成分表示やヘルシーメニューの提供など望ましい食生活を実践しやすい環境整備に取り組みます。
- ◆大学や企業と連携し、朝食の必要性について啓発に取り組みます。
- ◆妊産婦を対象に次世代育成のための望ましい食生活の普及を図ります。



5 壮年期

- ◆中食や外食等において、栄養成分表示やヘルシーメニューの提供等望ましい食生活を実践しやすい環境整備に取り組みます。
- ◆健診等で、適切な食生活の実践に役立つ知識の普及を図ります。

6 高齢期

- ◆簡単に作れる高齢者向けレシピの活用を促進します。
- ◆口腔機能の維持の必要性について啓発に取り組みます。

